

平成29年(2017年)5月26日

れきみん

# 資料館だより

No. Ⅲ-2

相生市立歴史民俗資料館

## 歴史講座「古地図に見るふるさと」紹介

今年の歴史講座は市内の古地図を調べています。図書館郷土資料室には、江戸時代から明治にかけての古い絵図が収集されています。この絵図をもとに、明治初期のふるさとの様子を考察します。先日は村の境界と字を現在の地図と照合しました。これから、橋と道路を調べます。講師の講演を聞くのではなく、絵図を見て話し合っって考えをまとめていきます。50年くらい前の様子は知っているのですが、その知識を出し合いながら100年前、150年前の様子を推定していきます。橋と道路から人々がどの道を通って移動していたかがわかってきます。

講座で学んだあと普段は自動車を通る道を歩いてみますと、新しい発見があったりします。一年間かけて古地図を調べ、簡単な冊子を作りたいと考えています。

なお、まだ3名の参加が可能です。

(歴史講座アドバイザー：松本恵司)



第2回歴史講座のようす

## 〈資料紹介1〉相生村全図

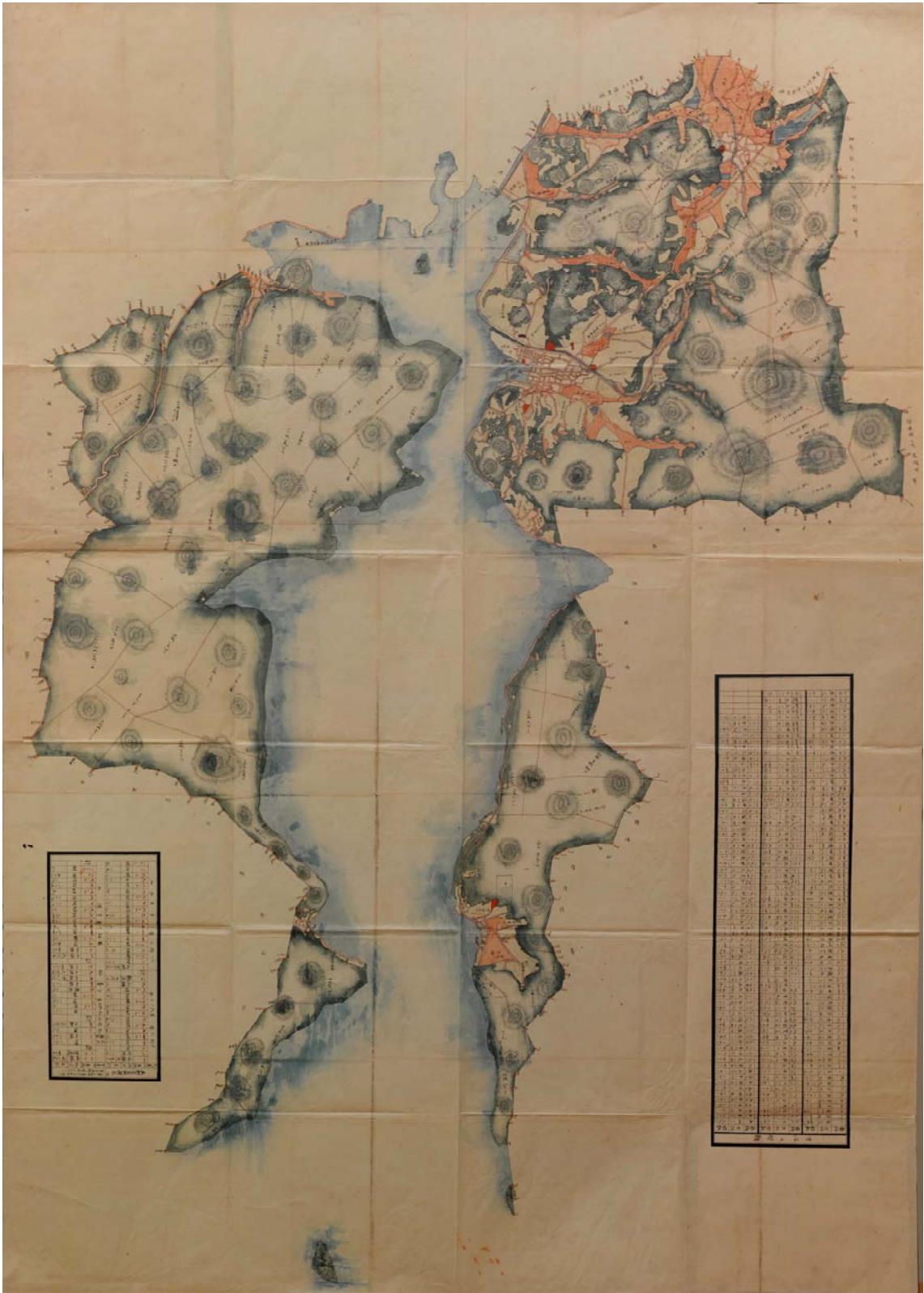
平成29年(2017年)4月19日、相生市川原町在住の濱本政恒氏より古地図と古書の寄贈がありました。古地図は「相生村全図」で、縦133cm、横93cmあります。

正確な作成年はわかりませんが、新町の埋立の終了が読み取れることから、1898年(明治31)以降の明治後期かと思われます。

小字名や地目が記され、当時の相生の様子を知ることができます。今後、記載情報の詳細を読み取り、作成の目的等を明らかにしていきたいと考えています。

(中濱久喜・橋本一彦)

[裏面に写真]



相生村全図 縦 133cm、横 93cm (撮影：橋本一彦)